

## 中小水力発電事業 初弾は新発田市で

大成ロテック

大成ロテックは中小水力発電事業の初弾を新潟県新発田市で実施する。創業者である大倉喜八郎（1837～1928年）の生誕地であることなどが選定の理由。事業化に向けて2021年度に事業主体となる合同会社を立ち上げる。今後

は新発田市を皮切りに北陸、東北、関東などの20カ所程度の候補地の中から順次選定していく。

中小水力発電の事業地は新発田市の加治川流域。河川の水を引き込んで発電する仕組みを採用する。西田義則社長は同市での事業に当たり、9月25日に下妻勇新発田市の副市長、加治川漁業協同組合の石井修組合長を表敬訪問した。

同社は合材工場の加熱装置、舗装工事、オフィスなどの企業活動から二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出している。カーボンニュートラル化を目的に環境エネルギー部を4月に立ち上げた。21年度の合同会社設立後は合同会社が土木・建築工事や電気計装、タービンなどを発注。2年半程度の建設期間を経て発電を開始する。